2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名　　セーレン株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　3569　　URL https://www.seiren.com
代　　表　　者（役職名）代表取締役会長兼最高経営責任者　　（氏名）川田　達男
問合せ先責任者（役職名）取締役専務執行役員 業務統括本部長 （氏名）勝木　知文　TEL 0776-35-2111
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年11月26日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け　　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	99,110	22.4	12,004	17.0	12,439	14.0	8,350	4.7
2026年３月期中間期	80,983	3.8	10,259	24.8	10,915	20.4	7,972	18.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　13,254百万円（ 167.2%）　2026年３月期中間期　4,961百万円（△59.1%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	142.51	141.64
2026年３月期中間期	135.78	134.93

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	236,438	170,686	71.8	2,916.26
2026年３月期	223,926	161,787	71.8	2,734.60

（参考）自己資本　2027年３月期中間期 169,705百万円　　2026年３月期 160,816百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	—	38.00	—	38.00	76.00
2027年３月期	—	43.00			
2027年３月期(予想)			—	43.00	86.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	16.4	24,000	15.2	25,000	13.6	17,500	12.2	300.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

1株当たり当期純利益（予想）は、2026年5月13日に公表した自己株式取得枠について、2027年3月末までの取得見込株式数を反映して算定しております。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）　詳細は、添付資料10ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	64,633,646株	2026年３月期	64,633,646株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	6,440,705株	2026年３月期	5,825,848株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	58,596,315株	2026年３月期中間期	58,713,559株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料4ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（セグメント情報等） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における経済環境は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の通商政策の動向や中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まり、物価上昇やエネルギー・原材料価格の高止まり、為替相場の変動等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような不確実性の高い経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、“イノベーションと顧客開発”及び“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力等、非財務価値を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の連結業績は、売上高991億10百万円（前年同期比22.4%増）、営業利益120億４百万円（同17.0%増）、経常利益124億39百万円（同14.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益83億50百万円（同4.7%増）となり、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益は中間期として過去最高となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

［セグメント別の業績概況］

（車輌資材事業）

国内事業については、カーシート材における商品構成の変化および新型車種向け販売の拡大に加え、エアバッグについても新型車種向けの受注が増加したことにより、増収・増益となりました。

海外事業（2026年１～６月）については、北米では前年に一部商材が好調であった反動から売上が減少したほか、電気自動車販売の伸び悩み等の影響を受けました。アジア地域では、中国の世聯汽車内飾（蘇州）有限公司において高付加価値製品の販売が堅調に推移したことに加え、原価低減活動の効果もあり好調に推移しました。また、タイにおいてカーシート材の販売が増加した一方、その他一部拠点では自動車販売市場の動向等の影響を受け、海外事業全体では増収・減益となりました。

なお、2026年1月1日に連結子会社となったＮＢセーレン㈱の自動車向け資材等が当セグメントに加わりました。

以上により、車輌資材事業全体では、増収・増益となりました。

当事業の売上高は610億64百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益83億93百万円（同3.6%増）となりました。

（ハイファッション事業）

アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。

単体では、海外向けアウター素材が好調に推移したものの、スポーツ、インナーおよびファッション衣料向け商材の販売が低調となりました。ＫＢセーレン㈱においては、スポーツアパレルをはじめとする海外向け一般衣料用途の販売が拡大しました。

以上により、ハイファッション事業全体では減収・減益となりました。

当事業の売上高は105億66百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益６億89百万円（同1.7%減）となりました。

（エレクトロニクス事業）

モバイル機器関連向け商材やAI関連向けサーバー用途の資材が好調に推移したほか、宇宙システム事業の売上拡大が寄与したこと等により、単体では増収・増益となりました。ＫＢセーレン㈱においては、データセンター向けHDDワイピングクロス「ザヴィーナ」の需要が回復するとともに、海外半導体メーカー向け防塵衣用導電糸「ベルトロン」や光ファイバーコネクタ清掃材が順調に推移しました。

また、セーレンアドバンストマテリアルズ㈱においては、シリコンウェーハの酸化膜加工（厚膜・薄膜）の販売が順調に推移しました。

以上により、エレクトロニクス事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は79億88百万円（前年同期比22.9%増）、営業利益は20億80百万円（同47.9%増）となりました。

（環境・生活資材事業）

住宅資材において、中東情勢を背景とした資材供給への懸念から前倒し需要が発生しました。一方、ＫＢセーレン㈱では民生資材の売上が回復したほか、ＮＢセーレン㈱の産業資材向け繊維や不織布等が当セグメントに加わりました。

以上により、環境・生活資材事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は116億５百万円（前年同期比143.5%増）、営業利益は７億41百万円（同91.3%増）となりました。

（メディカル事業）

人工血管やサポーター等の健康・医療資材が堅調に推移しました。一方、ＫＢセーレン㈱においては、高付加価値の貼付材が増加したほか、工業廃水用途の「ベルカップル」の需要が拡大しました。また、ＮＢセーレン㈱の貼付材向け短繊維等が当セグメントに加わりました。

以上により、メディカル事業全体としては増収・増益となりました。

当事業の売上高は43億29百万円（前年同期比34.9%増）、営業利益は５億83百万円（同87.4%増）となりました。

（その他の事業）

㈱ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業やセーレン商事㈱の保険代理業は堅調に推移しました。また、ＮＢセーレン㈱の包装フィルムや容器類向け原料販売等が当セグメントに加わりました。

以上により、その他の事業全体としては増収・増益となりました。

当事業の売上高は35億57百万円（前年同期比839.1%増）、営業利益は３億94百万円（同45.6%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して125億11百万円増加の2,364億38百万円となりました。流動資産は、現金及び預金や有価証券の増加などにより、前連結会計年度末と比較して65億92百万円の増加となりました。固定資産は、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して59億19百万円増加しました。負債の部は、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、36億12百万円増加し、657億52百万円となりました。純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことなどにより、全体で88億99百万円増加し、1,706億86百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は357億23百万円となり、前連結会計年度末より15億24百万円増加しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、130億77百万円の収入（前年同期は58億７百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が127億７百万円、減価償却費が34億12百万円あったことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、79億86百万円の支出（前年同期は26億61百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が52億53百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が38億66百万円あったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、54億49百万円の支出（前年同期は37億75百万円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出25億17百万円、配当金の支払による支出22億34百万円などによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国の通商政策の動向や中東情勢をはじめとする地政学リスク、原材料・エネルギー価格の動向、為替相場の変動等、先行き不透明な要素があるものの、当中間連結会計期間の業績が過去最高であり、今後、車輌資材事業やエレクトロニクス事業を中心に業績が計画通り推移すると判断したことから、2026年８月３日に公表した通期の業績予想を上方修正いたします。

2027年３月期 通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	195,300	22,600	23,000	15,700	267.58
今回修正予想（Ｂ）	200,000	24,000	25,000	17,500	300.93
増減額（Ｂ－Ａ）	4,700	1,400	2,000	1,800	
増減率（%）	2.4	6.2	8.7	11.5	
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	171,765	20,832	22,005	15,599	265.48

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,894	40,927
受取手形、売掛金及び契約資産	46,652	46,863
有価証券	4,444	6,041
商品及び製品	18,977	20,465
仕掛品	7,592	7,677
原材料及び貯蔵品	9,397	9,466
その他	3,801	4,907
貸倒引当金	△76	△76
流動資産合計	129,682	136,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,778	27,536
機械装置及び運搬具（純額）	16,252	17,308
工具、器具及び備品（純額）	1,003	976
土地	21,071	21,526
建設仮勘定	6,453	6,460
有形固定資産合計	70,560	73,808
無形固定資産		
のれん	159	79
その他	2,975	2,903
無形固定資産合計	3,134	2,983
投資その他の資産		
その他	20,653	23,474
貸倒引当金	△103	△103
投資その他の資産合計	20,549	23,371
固定資産合計	94,244	100,163
資産合計	223,926	236,438
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,918	23,989
短期借入金	1,344	1,344
未払法人税等	2,455	3,291
賞与引当金	2,077	3,004
その他	10,317	9,136
流動負債合計	37,113	40,767
固定負債		
長期借入金	7,871	7,206
役員退職慰労引当金	119	119
株式報酬引当金	346	456
退職給付に係る負債	5,611	5,625
企業結合に係る特定勘定	4,491	4,491
その他	6,587	7,084
固定負債合計	25,026	24,984
負債合計	62,139	65,752

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	20,040	20,222
利益剰余金	106,928	113,044
自己株式	△10,357	△12,615
株主資本合計	134,132	138,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,644	8,016
為替換算調整勘定	19,416	22,971
退職給付に係る調整累計額	622	546
その他の包括利益累計額合計	26,683	31,534
新株予約権	465	454
非支配株主持分	505	525
純資産合計	161,787	170,686
負債純資産合計	223,926	236,438

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	80,983	99,110
売上原価	58,131	72,554
売上総利益	22,852	26,556
販売費及び一般管理費	12,593	14,551
営業利益	10,259	12,004
営業外収益		
受取利息	478	485
受取配当金	174	273
補助金収入	107	75
有価証券評価益	―	72
その他	76	139
営業外収益合計	837	1,046
営業外費用		
支払利息	60	20
有価証券評価損	111	―
為替差損	5	571
その他	4	18
営業外費用合計	181	611
経常利益	10,915	12,439
特別利益		
固定資産売却益	15	28
受取保険金	―	240
特別利益合計	15	269
特別損失		
固定資産処分損	95	1
減損損失	49	―
特別損失合計	144	1
税金等調整前中間純利益	10,787	12,707
法人税等	2,776	4,309
中間純利益	8,010	8,398
非支配株主に帰属する中間純利益	38	47
親会社株主に帰属する中間純利益	7,972	8,350

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	8,010	8,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,319	1,371
為替換算調整勘定	△4,394	3,561
退職給付に係る調整額	25	△76
その他の包括利益合計	△3,049	4,856
中間包括利益	4,961	13,254
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	4,934	13,200
非支配株主に係る中間包括利益	26	53

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	10,787	12,707
減価償却費	2,943	3,412
固定資産処分損益（△は益）	79	△27
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	247	927
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△52	△97
受取利息及び受取配当金	△652	△759
支払利息	60	20
為替差損益（△は益）	△285	△1,015
売上債権の増減額（△は増加）	△1,818	1,472
棚卸資産の増減額（△は増加）	15	△954
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,008	2,159
未払消費税等の増減額（△は減少）	△207	△158
その他	△764	△1,438
小計	9,337	16,247
利息及び配当金の受取額	693	655
利息の支払額	△82	△21
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△4,141	△3,804
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,807	13,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,252	△5,253
有形固定資産の売却による収入	23	30
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,217	△3,866
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	102	700
定期預金の純増減額（△は増加）	3,715	407
その他	△31	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,661	△7,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,100	―
長期借入金の返済による支出	△4,549	△664
自己株式の取得による支出	―	△2,517
配当金の支払額	△2,227	△2,234
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3	―
非支配株主への配当金の支払額	△93	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,775	△5,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,461	1,883
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,091	1,524
現金及び現金同等物の期首残高	40,317	34,198
現金及び現金同等物の中間期末残高	38,225	35,723

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント(注)１						その他(注)１	合計	調整額(注)２	中間連結損益計算書計上額(注)３
	車輌資材	ハイファッション	エレクトロニクス	環境・生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じる収益	55,534	10,591	6,501	4,766	3,209	80,604	118	80,722	—	80,722
その他の収益	—	—	—	—	—	—	260	260	—	260
外部顧客への売上高	55,534	10,591	6,501	4,766	3,209	80,604	378	80,983	—	80,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	33	177	201	7	420	323	743	△743	—
計	55,534	10,625	6,679	4,967	3,217	81,024	701	81,726	△743	80,983
セグメント利益	8,097	701	1,406	387	311	10,905	270	11,175	△916	10,259

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント(注)１						その他(注)１	合計	調整額(注)２	中間連結損益計算書計上額(注)３
	車輌資材	ハイファッション	エレクトロニクス	環境・生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じる収益	61,064	10,566	7,988	11,605	4,329	95,553	3,294	98,848	—	98,848
その他の収益	—	—	—	—	—	—	262	262	—	262
外部顧客への売上高	61,064	10,566	7,988	11,605	4,329	95,553	3,557	99,110	—	99,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	45	592	122	5	766	395	1,162	△1,162	—
計	61,065	10,611	8,581	11,728	4,335	96,320	3,952	100,273	△1,162	99,110
セグメント利益	8,393	689	2,080	741	583	12,488	394	12,882	△877	12,004

（注）１．各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

(1)車輌資材……自動車・鉄道車輌等内装材（シート材、エアバッグ、加飾部品）

(2)ハイファッション……各種衣料製品、衣料用繊維加工

(3)エレクトロニクス……導電性素材、工業用ワイピングクロス、電子機器、シリコンウェーハの成膜加工、人工衛星関連部材

(4)環境・生活資材……建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木・農業関連資材

(5)メディカル……医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装フィルム・容器類の原料販売、ソフトウエアの開発及び販売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用（前中間連結会計期間898百万円、当中間連結会計期間860百万円）が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。